

戸籍の窓

【6月 1日～6月30日届出】

ご結婚おめでとう

氏名 住所
 (片倉 拓朗 山口
 阿部 真波美 飯豊町)

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
荒砥乙	安達 元桃子	瑠架
広野	鈴木 怜晴美	柚人
菖蒲	岡崎 悟司	ともひさ
荒砥乙	衣袋 裕也	莉ま
山口	高橋 美恵	あいら
	友紀	梨

お く や み

住所	氏名	年齢
広野	梅津 ひろ	81
広野	新野 重五郎	85
高玉	五十嵐 英子	69
高玉	金田 眞二	72
滝野	竹田 ぶう	88
下山	竹田 照子	64
荒砥乙	小松 ウメ	99
鮎貝	田中 きみ子	85
山口	大嶋 勝	64
横田	尻丸 川喜久	96
下山	山安部 宏	65
黒鴨	佐藤 清吉	91
十王	福田 ふみ	84
畔藤	藤山 さよ子	84
荒砥甲	飯澤 敬一	101
十王	佐藤 良二	98
鮎貝	鈴木 せい	76
十王	高山 悌三郎	85
荒砥乙	橋本 千代子	68
十王	橋本 四郎	86
畔藤	上田 一明	68
十王	海老名 たか	94
十王	工藤 恵子	81
荒砥乙	大村 時子	68
鮎貝	小関 しよ	79

みんなで広げる 輪 通信



白鷹吟友会 (会長 大橋 雄岳 さん)

◆ 結成は？
 ○昭和61年11月、中央公民館活動の一環として詩吟講座が開かれ、講師の平吹岳導先生(当時山大学教授)の人柄と味わい深い吟に魅せられ、昭和62年2月「白鷹吟友会」として発足、現在米沢に本部のある吟道岳鷹会の白鷹支部として14人で活動しています。

◆ 詩吟の魅力とは？
 ○詩吟は難しいとの先入観から敬遠されがちですが、内外の著名な詩人の漢詩、和歌、俳句などを味わいながらよみくだし、節(節調)を付けて、腹の底から発声し吟ずる詩吟は健康によく、歴史の勉強にもなり、また、お茶を飲みながら、時の話題を語り合う誠楽しい会です。

◆ どれくらい練習するのですか？



指導者 加藤 岳晴 先生

◆ 最後に一言
 ○会員6万人を有する公益社団法人日本詩吟学院に所属し、県南大会、温習会、県大会、全国大会などにも参加でき、多くの吟友と交遊、人格形成にも役立つのが吟友会です。是非ご入会をお待ちしております。

■ 問い合わせ 顧問 橋本 85-12051

▼表紙には赤組の応援披露を使いましたが、白組の名物「大根踊り」も健在で、20数年前に踊った私は、大変懐かしい気持ちになりました。(おおたき)



広報しらたか「第2号」を探しています

現在、「白鷹町史・現代編」の編さんを進めています。町誕生当時の貴重な資料です。お持ちのかたがおられましたらご連絡ください。

■ 連絡先
 教育委員会 文化振興係 ☎85-6146

戸籍の窓にのせたくないかたは、届出のときに戸籍年金係にお申し出ください。

広報しらたかは再生紙を使用しています。